

男女共同参画へ一歩いっぽ [パ・ザ・パ (Pas à pas)]

No.

40

2023年度

# Pas à pas

メインテーマ

## 一人ひとりの結婚観について

～若者世代の多様な選択～

- P2～9 **特集** 一人ひとりの結婚観について
- P10 夫婦・カップルの家事・子育てについて
- P11 男性電話相談事業
- P12 性の多様性関連事業
- P13 人権関連事業
- P14 しずおか女子きらっ☆ブランド認定商品
- P15 第4次静岡市男女共同参画行動計画
- P16 静岡市みんなの悩み相談



# 一人ひとりの結婚観について

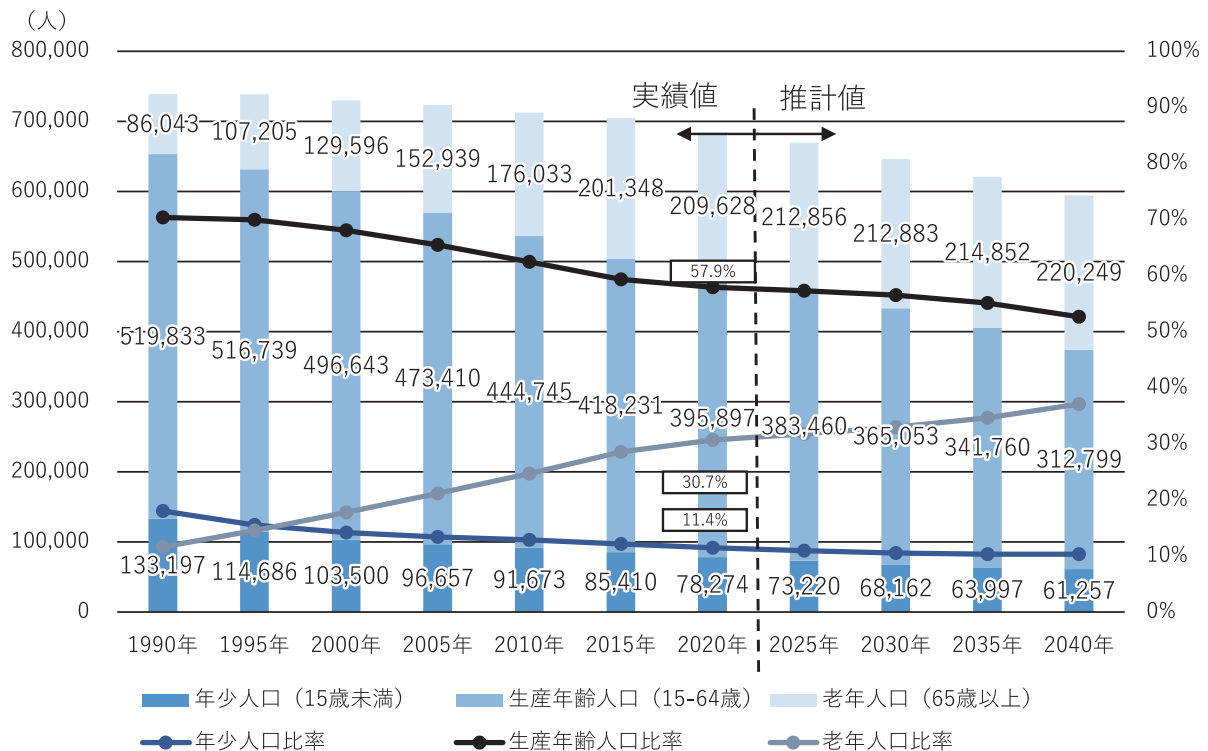
～若者世代の多様な選択～

## 静岡市の人口

本市の人口は減少傾向にあります。2020年(令和2年)は約684,000人でしたが、10年後の2030年(令和12年)には約646,000人に、20年後の2040年(令和22年)には約594,000人に減少する見込みです。

年齢区別の人口推移をみると、年少人口(0～14歳)や生産年齢人口(15～64歳)が減少する一方で、全体に占める老年人口(65歳以上)の割合が増加し、今後ますます少子高齢化が進展することが予想されています。また、**未婚・離婚の増加等による単独世帯やひとり親家庭の増加もみられます**。そのため、若者世帯や高齢者層、ひとり親家庭等への支援策の充実が、一層重要となります。

図1 静岡市の年齢区別将来人口推計



出典：総務省「国勢調査」、国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口」

「若者の恋愛離れ」。SNSが発展する現代において、このような言葉を耳にしたことはありませんか？結婚に対する若者の考え方は昔と比べて変化しているのかもしれませんが。

そこで、静岡市の人口の推移や若者の未婚率について、データに基づいて見てみました。

## 若者の未婚率の現状

実際に、総務省が調査した国勢調査のデータを見てみると、1985年と比べて2020年では、男女共に未婚者の割合が増加していることが分かります。特に、30歳女性の未婚率は、14.0%（1985年）から42.8%（2020年）へ。30歳男性の未婚率は、37.9%（1985年）から55.2%（2020年）へと、それぞれ大幅に増加しています。ここから、**若者の未婚率が増加していることが分かります。**

図2-1. 女性の未婚率の変化

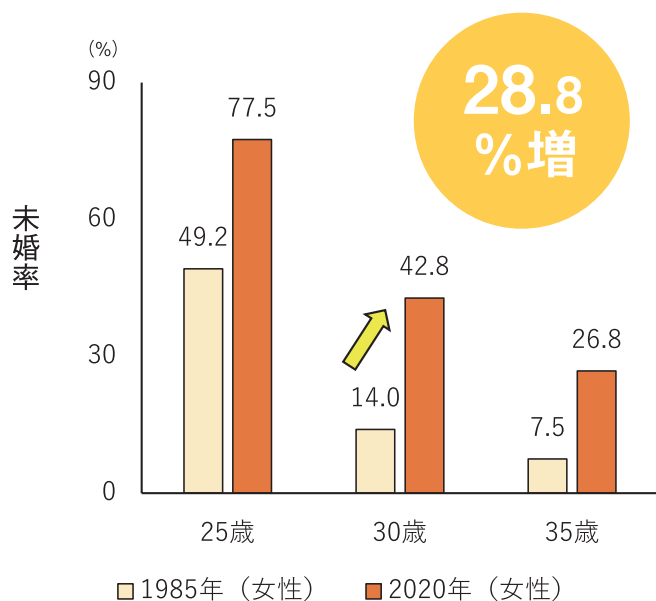
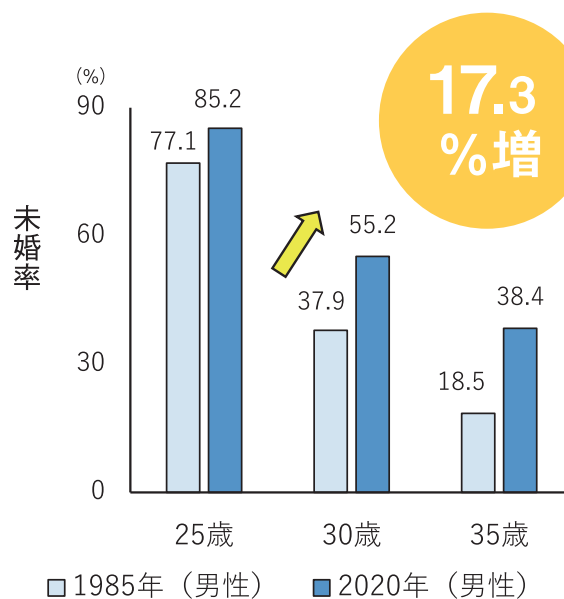


図2-2. 男性の未婚率の変化



出典：総務省「国勢調査」より静岡市男女共同参画・人権政策課作成

若者の未婚率が増加していますが、実際に若者は現状をどのように感じ、考えているのでしょうか…？

若者の結婚観を知るために、  
静岡市の若者にインタビューを行いました！

次ページへ



## 結婚観に対する実態

19～22歳の市内の若者に、それぞれが抱える結婚に

## あなたは将来結婚したいと感じますか？（5段階評価）

結婚したい 1

1



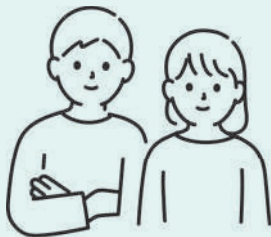
19歳／女性／学生

## その理由は？

子育てに関する知識が乏しいのでなんとも言えないですが、自分が職を失うことも容易に考えられる世の中で、子どもに満足した暮らしや好きなことをさせてあげられるのかが不安です。また、様々な責任を負いたくないからです。

## 結婚の利点は？

一人では得られない幸福が得られることです。

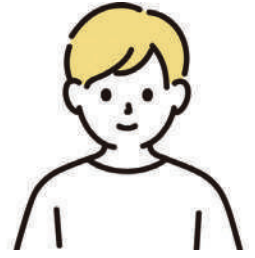


## 結婚への不安は？

老後のことや子どもの将来のことを考えてお金をためなければいけないことです。また、結婚により、仕事を辞めるまでいかなくても働き方をパートタイム労働に変えたりすることで収入の低下の懸念があります。

結婚したい 3

3

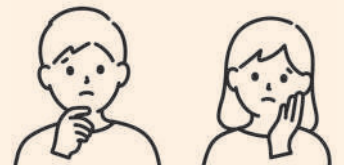


21歳／男性／学生

前提として、結婚は義務ではなく、結婚しなくてもいいものだと思います。また、結婚しなくても社会的地位を確立できる世の中になっていると感じます。それを踏まえた上で、この人と生活していきたいと思える人と出会えた場合は、結婚をしたいと思います。結婚することで、少しは親を安心させることもできると思います。

好きな人と一緒にいられ、協力できることや時間を共有できることです。また、親を安心させられ、僅かに残る独身への偏見を受けないことです。

自分の時間やお金が減ってしまうことや、2人で生活することで経済的負担が増えてしまうことを不安に感じます。



# 若者にインタビュー！

対する悩みについてお話を伺いました。

対象者：11人

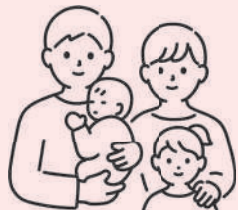
結婚したい人

5



19歳／男性／学生

将来、子どもを作って明るい家庭を築きたいからです。また、生涯孤独で生活するのは嫌だからです。



生涯、孤独に生きることはなく、どんな時も支え合えるパートナーといることで、お互いに安心することができると思います。また、何事にも頑張れる動機になると思います。

お金の管理方法や、子どもが生まれたときの子育てにおける価値観の違いから衝突が起こることが不安です。何十年という長い年月を共にする上で、一生その人を愛せるのか不安です。独身の時と比べて、自分だけの時間が減り、自由な時間が制限されてしまうことです。

## 他の若者の考え・意見

### 結婚の良いイメージ

- ・ 2人で支え合うことができる
- ・ 自分の足りない所を補い、人生を豊かにしてくれる
- ・ 帰る場所がある安心感
- ・ 自分にはない価値観を知ることができる

### 結婚への不安

- ・ 金銭面や友人関係の不安
- ・ 家事、子育ての夫婦間での分担の偏りや仕事との両立
- ・ 生活リズムや意見が異なる人と暮らすことによる衝突

## まとめ

若者の結婚離れが進んでいる現代ですが、結婚に対して前向きな意見を持つ人も多くおり、結婚することで、安心感や新しい価値観を得られるといった声が多くありました。

一方で、金銭面や家事育児、共同生活を行うことへの不安など、

結婚に対して前向きな人でも、結婚に対して様々な不安を抱えていることが分かりました。

# 結婚観に対する実態

若者に聞いた結果、結婚したいという気持ちがある人でも様々な不安を抱えていること

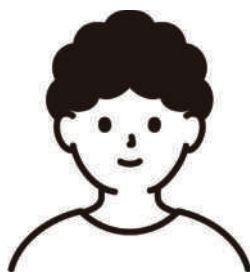
## 質問内容

Q 1. 若者が結婚に対して様々な不安を抱えているようですが、結婚することに不安はありましたか？

Q 2. 結婚をしてみて大変だったことは何ですか？

Q 3. 結婚してよかったと感じることは何ですか？

## 家族ができて世界が広がり、心も豊かに



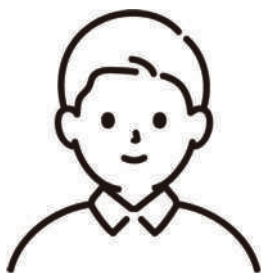
40代／男性／自営業  
子ども3人

**A 1** 自分の自由な生活ができなくなるかもしれないという不安がありました。金銭面の不安については、先のことは分からないので今できることをやるのがいいと思います。先のことが心配で消極的になる必要はないと思います。

**A 2** 子育ては大変に感じますが、必要なことだと思います。子育てすることにより、自分を客観的に分析できると感じますし、単純に子どもの成長を見るのは楽しいです。

**A 3** 食事をする相手がいつもいるのは楽しいです。苦楽を共にする最も信頼できる相手ができたことが良かったと感じます。また、親戚付き合いなどが広がり、親との会話も結婚前と比べて増えました。

## しっかりと準備をすることで、不安はなくなりました！



30代／男性／公務員  
子ども1人

**A 1** 将来お金についてしっかりと管理していけるか、家事子育てをしっかりと行っていけるかという不安がありました。しかし、FP(ファイナンシャルプランナー)の方の意見を参考に将来の人生設計を計画立てたり、パートナーとしっかりと話し合ったりしたことで、不安を解消することができました。いろいろと調べていく中で、結婚したことで助成金をもらえることや、ローンを組めることを知ることができました。

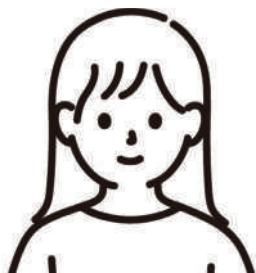
**A 2** なかなか子供を授かることができず苦労をしました。一度は諦めかけましたが、最後まで諦めず妊活し、妊娠・出産することができました。家事分担やお金の管理については、ルールを事前に決めることで、大変ではなくなりました。自由に使えるお金や時間が独身の時と比べて少なくなりましたが、その分家族に使う時間が増え、その時間が楽しいと思えるようになったため、全然苦ではないです。

**A 3** 辛いとき、お互いの心を支え合い、楽しいことも分かち合える相手が近くにいることです。また、とにかく子どもがかわいくて何でも頑張れる気がします。

# 既婚者にインタビュー！

が分かりました。では、実際に結婚した人に、結婚後の感想を聞いてみましょう！

## 国際結婚をしてみても



20代／女性／子ども1人

**A1** 結婚ということに関しては特に大きな不安はありませんでしたが、子育てを想像すると、日々報道される社会問題のニュースに煽られ漠然とした不安を抱くことはありました。それでもその不安から子育ては無理だとは思っていませんでしたし、出産をした今も、それ程大きな不安は感じていません。これからも子どもの成長にあわせてパートナーと協力して生活していきます。でも、もし国際結婚でなく、パートナーが日本人だったら…と想像すると、かえって結婚する前のハードルが高かったかもしれないな、とも思います。仕事もしながら両家のつながりや結婚準備等をあれこれと考えるのは面倒そうだし…まだいいかな、と先延ばししていたかもしれません。

**A2** 夫婦別姓が認められて、もっと人々に理解される社会になればいいのに…とは思いますが。結婚証明書で今のところ生活上困ることは特にありませんが、日本国籍でないパートナーと結婚した場合、私と私の戸籍に入れることができる子どもと、父親の名字が違うということが生じます。そのことをなかなか理解してもらえない方に説明するのは少し煩わしさを感じます。柔軟な理解を示してくれるかなと思っていた身内からも、意外にも、家族全員が同じ名字でないことを指摘されました。夫婦別姓がもっと世の中に浸透すれば良いのに、と感じます。

**A3** 彼は政府に認められること、どちらかが病気等で働けなくなった時にサポートができることだと言っています。現在、彼が育児休業制度を利用して一緒に子育てをしています。一緒に生活をするということは家庭内のことを分担できるということなので、それぞれの時間を大切にできることにもつながっていると感じています。独身の時は全て自分ひとりでやっていたことも、ふたりでできることが嬉しく思います。他にも、結婚・出産を経て、改めて親のありがたさを感じました。私たちには近くに親族がいませんが、離れていても精神的なつながりでサポートしてくれる存在に感謝しています。

## 世代間の考え方の違い

既婚者の皆さんにインタビューをして、金銭面や家事・子育てへの不安を抱えながらも、その不安を解消するように考え、行動していることが分かりました。

### 若者の不安

金銭面

家事・子育ての夫婦間での分担の偏り

### 既婚者の意見・考え

何にいくらかかるか等、具体的に将来設計をすることで、漠然とした不安は解消できる

パートナーと話し合い、2人のルールを作ることが大切

# 本テーマのまとめ

市民編集  
スタッフ  
の感想

## インタビューを通じて

自分が思っていたより若者が結婚についてよく考えていた印象でした。金銭面などの漠然とした不安が結婚の考えにも繋がっていると分かったので、若者が結婚に不安を抱えないような世の中になって欲しいと思いました。



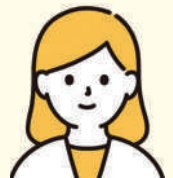
今回、予想していた以上に若者が前向きな結婚観を持っていることがわかりました。未婚率の増加の原因を探るためには、今回のアンケート対象とした19歳～22歳よりも上の世代で、結婚観がどのように変わるのかを調べる必要があると思いました。



若者は結婚に対してお金や時間の不安を抱いていましたが、既婚者のインタビューでは「結婚し家族ができる事で、これまでの時間やお金に対する価値観も変化していく」というように、変化を楽しんでいる様子が見ええました。



結婚のかたちは様々であり、正解なんてない。昔からの当たり前にとらわれずに自分たちの幸せの形を見つけられたら良いと思いました。自分の人生の決定権は自分が持っているものなので、自分が幸せだと思えたらそれで良いのではないのでしょうか。



若者へインタビューを行ったところ、漠然とした不安を抱える人もいました。実際に結婚された方の中には、不安を解消できるよう、市の助成金制度を利用したり、パートナー同士で家事・子育ての取り組み方について考えたりする人がいることがわかりました。

様々な制度を利用することで、将来への不安を解消できるかもしれません。また、結婚することで「苦楽を共にする最も信頼できる相手が見つかった」「自分の成長につながった」といった声もあります。

結婚をするかどうかは個人の選択であり、正解はもちろんありませんが、ぜひこの機会に、多様な意見・情報を受け止め、ご自身で考えてみてはいかがでしょうか。

「バ・ザ・パ」にご意見をお寄せください！



出産・子育ての不安には…

## 静岡市の支援制度があります

こんにちは  
赤ちゃん訪問



児童手当



妊娠後期  
(妊娠8ヶ月頃)訪問



子ども  
医療費助成



出産・子育て  
応援給付金



第2子以降の  
保育料無償化



産後ケア





今回は「法律婚」に注目して特集をしましたが、法律婚以外にも様々な形があります。「結婚」ととらわれすぎず、一人ひとりの思い・考え方を尊重していけるような社会になることを願っています。

## 事実婚

近年、結婚についての意識の変化により、いわゆる「事実婚」という形を選ぶ夫婦の姿がメディア等で紹介されるようになってきました。一般的に「事実婚」というのは、法律上の届出はしていないものの、事実上夫婦としての実態がある関係をいいます。

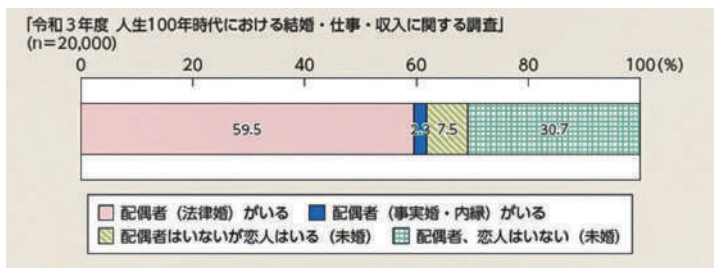
「事実婚」についての調査データは少なく、その実態は見えにくいものとなってきましたが、令和3年度に内閣府で実施した各種調査の結果をみると、「事実婚」を選択している人は成人人口の2～3%を占めていると考えられます。(図3)「事実婚」を選択する理由は様々ですが、その理由の一つには結婚すると、どちらかが名字を変えなければならないという問題があることが指摘されています。(図4)夫婦の名字・姓の在り方については、今後の国の動向を注視していく必要があります。

「事実婚」は、法律上の届出をしていないため、法律婚と比べて取扱いに差がありますが、個別の法律では法律婚と同様のものとして規定されることもあります。詳しくは、内閣府資料「人生100年時代の結婚と家族に関する研究会(第7回)「いわゆる事実婚に関する制度や運用等における取扱い」を参照してみてください。



◀ 内閣府資料について  
詳しくはこちらから

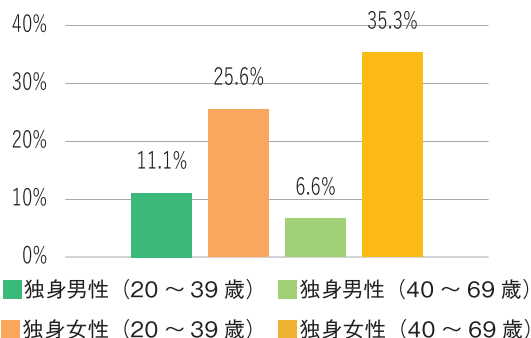
図3. 配偶者等の状況



出典：内閣府男女共同参画局

「令和3年度 人生100年時代における結婚・仕事・収入に関する調査」

図4. 名字が変わるのが嫌・面倒という理由で積極的に結婚したいと思わない人の割合



※「当てはまる」「やや当てはまる」の累計値を掲載

## 静岡市パートナーシップ宣誓制度

市では、性的少数者や事実婚のカップルの生きづらさや困難の解消のため、パートナーシップ宣誓制度を実施しています。互いを人生のパートナーとして、日常生活において、相互に扶助し合う「パートナーシップ」の関係であることを2人が宣誓し、市は宣誓書を受領のうえ受領証明書(宣誓書受領証・宣誓書受領カード)を交付します。

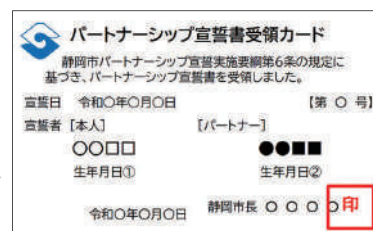
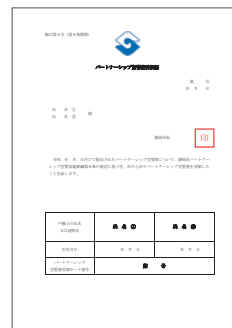
法律上の婚姻制度とは異なり、宣誓しても法律上の効果は生じず、戸籍や在留資格等が変わるものではありませんが、市では、日常生活の様々な困りごとの場面で受領証明書を活用いただけるよう取り組んでいます。宣誓したカップルからは「2人の関係を市に認めてもらえてうれしい」「家族以外の人(職員)から祝福されてうれしい」「勤務先の福利厚生制度を使うことができる」などといった感想をいただいています。



◀ 静岡市パートナーシップ宣誓制度  
詳しくはこちらから

静岡市パートナーシップ  
宣誓書受領カード

静岡市  
パートナーシップ  
宣誓書受領証



# 夫婦・カップルの家事・子育てについて

共働き世帯が増え、男女関係なく、家事・子育てに参加するのが普通の世の中になりました。「イクメン」という言葉に違和感を覚える人も多くいます。

しかし、実情を見てみると、男性の家事・子育て参加率は、3割超であるものの参加時間は女性の半分以下(令和3年総務省「社会生活基本調査」)です。

同年の静岡市調査でも、女性が家事・子育てにかかる時間は男性のそれに比べて**約3倍**という結果になっています。

## これ、実はものすごく損しているのです!

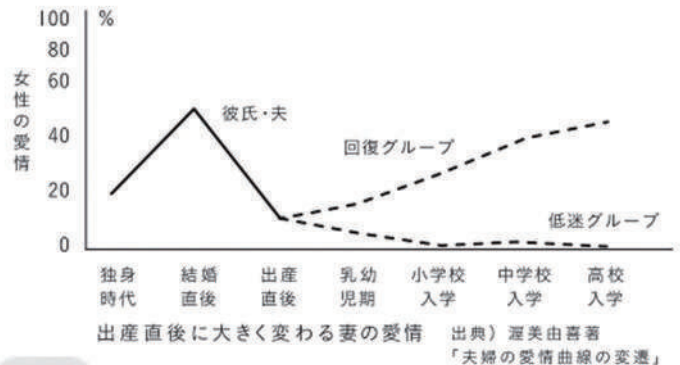
男性が家事・子育てに参加する(回復グループ)と、しない場合(低迷グループ)に比べて、夫婦の関係性が格段に良くなります。(図表1)

また、家事・子育てをシェアすることで女性が就労できる時間も確保でき、世帯収入増加という大きなメリットもあります。(図表2)

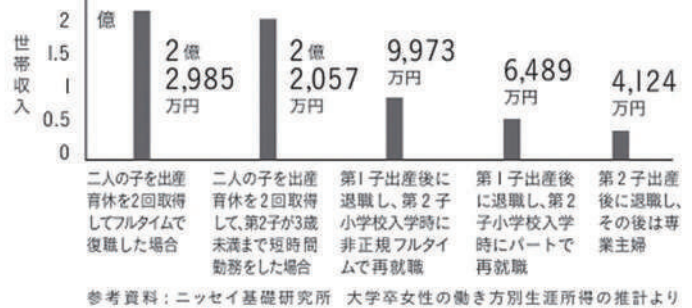
描いたライフプランを実現していくのに不可欠な家事・子育てのシェア。

あらためて考えてみましょう。

図表1 女性の愛情曲線



図表2 女性の就労状況と世帯収入



## R5年度家事分担ワークショップを実施しました!



### 市民向け講座

久保ひとみさんの「子育てと家事育児シェア」の講演 & 家事子育てシェアについて考えるワークショップを実施しました。

みなさんも、この機会に家事分担についてカップルで話し合ってみませんか?

講座内のワークショップで使用した内閣府作成「〇〇家作戦会議」は右記の二次元コードよりダウンロードできます。→



### 企業向け講座

男性が家事・子育てに参加しやすい環境づくりというテーマで、社員に対して企業がどんなサポートができるかをあらためて考えるワークショップを実施しました。

静岡県における男性の育休取得率は、年々増加しています。(R2) 9.2%⇒(R3) 13.7%⇒(R4) 21.8% しかし、積水ハウスが発表する男性の家事・育児力全国ランキング2023によると、静岡県の順位は43位であり、市民や企業に向けた取組が引き続き必要であると考えられます。

# 静岡市では 男性のための電話相談を 実施中！

仕事

生き方

これって  
DV？

家庭

学校



静岡市では、男性のための電話相談「メンズほっとライン静岡」を実施しています。仕事での悩み、家庭での悩み、生き方（結婚・離婚、DV、暴力・虐待、これからの生き方の相談）など男性が抱える様々な悩みを男性相談員が電話で相談にのります。

## どんな悩みでも無料でお受けしています！

荷 な し お と こ  
☎ 054-274-0105



【相談日】毎月 第2・4 火曜日 19:00 ~ 21:00（祝日を除く）

### R5年度男性電話相談員養成講座 （全4回）を開催しました！



定員30名の予定でしたが、40名に参加いただきました。また、男性が相談する機会や場が少ないことから本事業は注目されており、朝の情報番組NHKあさイチで放送されました。

#### 第1回

講師：犬塚 協太氏（静岡県立大学国際関係学部国際関係学科 教授）  
内容：男性相談に必要な男女共同参画の視点とその意義（講義）

#### 第2回

講師：濱田 智崇氏（京都橘大学総合心理学部総合心理学科 准教授）  
内容：男性相談の基本理念と相談員に求められる姿勢（講義・演習）

#### 第3回

講師：松林 三樹夫氏（松林カウンセリングルーム）  
内容：相談活動の意義とスキルの上昇（講義）

#### 第4回

講師：濱田 智崇氏（同上）  
内容：男性相談の実態と対応の基礎演習（演習）

### 男性電話相談事業支援団体の紹介 （メンズ・サポート・しずおか）



男性電話相談事業支援団体【メンズ・サポート・しずおか】は、2007年に静岡市男女共同参画課が開催した男性相談セミナーの受講生が立ち上げた団体です。ジェンダーの視点から、男性の生き方や悩みなどを、ともに考え、ともに学ぶことを目的としています。女性・男性ともにメンバーであることが特徴で、幅広い年代で活動しています。

見学可

入会希望・問い合わせなどはこちらから  
▶090-4572-4890（事務局：白石）

# 性の多様性関連事業

性の多様性に関する市民等の理解促進を図るため、講演会・講座等の実施、パンフレット等の制作・配布を行っています。

令和5年度講演会・講座等実績

市立園長会研修、市立小中学校教頭会研修、職員向け研修、学校出前講座、企業向けセミナー、市政出前講座

性の多様性に関する企業ガイドラインはこちら



## 学校出前講座

毎年、市内の小中学校数校に対して、学校出前講座を行っています。



【令和5年度 市内中学校】 講師：本間江理子先生

今年度のテーマは、「豊かなセクシュアリティ」です。誕生学アドバイザーや“人間と性”静岡教育研究所所属の元学校教員等が講師を担当しています。思春期まっただなかにある中学生がこの時期にぴったりの、『性と生』を尊重し合い、豊かな人間関係を築いていくことを目的とした講座や、相手を思いやることの重要性を通じて、プライベートゾーンを守り、デートDVの予防を図る内容について講座を行っています。



【令和5年度 市内小学校】 講師：ファシリテーター静岡 鈴木美津子先生

今年度のテーマは、「誰もが自分らしく輝くために」です。県内の学校や団体に対して男女共同参画の講義を行う【ファシリテーター静岡】が、講師を担当しています。誰もが「個性や能力」を発揮できる社会(男女共同参画社会)を実現するために、性別にとらわれず、多様性を認め合うことの大切さを、児童たち自らが「気づいて」、これから「築いてゆく」にはどうしたら良いか、ということを知りやすく説明しています。

## にじいろカフェ

LGBTQの当事者が交流する場です。当事者だけではなく、その家族や関心のある人など、いろいろな背景を持つ人たちも参加できます。

日程：原則第4日曜日 13:30~16:00

会場：アイセル21(葵区東草深町3-18)

詳細：市HP(右記二次元コード)から



参加者の声 ※市HPに各回の参加者の感想も掲載しています

- ・何でも受け止めてくれる場で安心して参加できる。
- ・身近に自分と同じ考え方をを持った人がいることを実感して、安心した。



# 人権関連事業 人権啓発講演会を 実施しました

静岡市では、人権について関心を持ってもらうため、毎年人権啓発講演会を開催しています。

今年度は12月2日に、ライターでマンガ研究者のトミヤマユキコさんをお迎えし、「マンガから学ぶ『ルッキズム』～自分／他者と上手に向き合うための処方箋～」をテーマにお話を伺いました。

「ルッキズム」とは、人を外見に基づいて判断、差別すること。

多くの方は視覚から得られる情報に頼って生きているため、「差別はよくない」と言うだけでは解決が難しい問題です。

## 1. マンガとルッキズム

講演で、トミヤマさんはまず「ルッキズムが社会構造やジェンダーに関わる問題であることを、マンガを読むことで気づくことができる」と説明。女子マンガは、かわいい女子とイケメン男子の恋愛を描くものと思われがちですが、トミヤマさんは「名作といわれる作品の中には美醜の問題をテーマとするものも多い。そして意外なことに『美人が得をして、ブサイクは損をする』というストーリーはそれほど多くない。たとえ美人に変身できたとしても、他人に評価されることでしか自分の価値を決められないヒロインはとても苦勞する」と指摘します。続いて、ルッキズムを考える上でおすすめのマンガを紹介、解説いただきました。

## 2. 「ご自愛」の大切さ

後半はルッキズムに対しての向き合い方について触れ、「ルッキズムは良くないこと。けれどもルッキズムから距離を取ろうとするあまり、『ありのままの自分で良い』と見た目に関わなくなりすぎるのはセルフネグレクト※につながる危険がある。ルッキズムに対しては、自分がどうしたら心地よくなるか、という自分軸の基準を持ち、自身の心と体をケアする『ご自愛』が大切」と締めくくりました。

※セルフネグレクト  
自分自身に対する無頓着や無関心が原因で、自身を放置し管理ができなくなってしまう状態

- 講演の中で紹介されたマンガ
- あいだ夏波『園外プリンセス』（マーガレットコミックス、集英社）
- 谷口ひとみ『定本 エリノア』（さわらび本工房）
- 山中ヒコ『クラスで一番可愛い子』（フィールコミックス、祥伝社）
- 坂井恵理『鏡の前で会いましょう』（BE LOVE KC、講談社）
- 糸井のぞ『僕はメイクしてみることにした』（ワイド KC、講談社）



## 3. マンガだからできること

また、「小説は読者の想像によってイメージするものが異なり、ドラマのような実写では登場人物を演じる俳優の見た目や印象が大きく左右されてしまう。マンガは読者同士がイメージを共有しやすいので、ルッキズムの問題を議論するときには良いツール」とのお話もありました。

参加者の感想では「自分の中でぼんやりと興味があったルッキズムについて、堅苦しくなく、けれどもじっくりと考える時間が持てたのが良かった」との声がありました。

マンガは世代や性別を超え、多くの人が楽しめるもの。時にはマンガを通してルッキズムについて考え、家族や周りの人と話し合ってみてはいかがでしょうか。



トミヤマ ユキコ さん  
(ライター／マンガ研究者／東北芸術工科大学准教授)  
ライターとして活動するかたわら、大学では日本の少女マンガについての研究や編集・ライティング関連の講義を担当。著書に「女子マンガに答えがある『らしさ』をはみ出すヒロインたち」（中央公論新社）、「少女マンガのブサイク女子考」（左右社）など。

令和5年度

# しずおか女子きらっ☆ブランド

認定商品

を紹介します！

静岡市では女性が企画・開発した優れた商品を「しずおか女子きらっ☆ブランド」に認定し、女性活躍の好事例として積極的にPRしています。第8回目となる令和5年度は、5商品を認定しました！

これまでの認定商品は  
こちら



## お粥のプディング

お粥をベースに、身体にやさしい素材のみでつくる  
ライスプディング



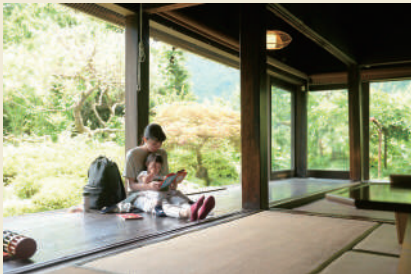
株式会社結彩 すくいろ  
静岡市葵区  
鷹匠3丁目11-19



## こぐま place

オクシズの自然を背景に、「ありのままの自分であう」をテーマにして整備した施設

北極しろくま堂有限公司 静岡市葵区平野135 こぐま place



## COMOLEBI家具シリーズ

厳選されたユーカリを使って静岡の家具職人が手掛ける本格家具



エコウッド  
景観協同組合  
静岡市葵区  
慈悲尾227-3



## stone(菊・カーネーション),board(L・S),瓦アクセサリ

吸収性やデザイン性に優れている「瓦」を使ったアロマストーンやボード、アクセサリ



長澤瓦商店株式会社  
静岡市清水区北脇650-1



## みんなでちゃちゃちゃ

子どもがお茶を淹れる楽しさ、美味しさをはぐくむ“お茶育セット”

丸福製茶株式会社 静岡市葵区若松町25



# 第4次静岡市男女共同参画行動計画を策定しました！

静岡市では、平成15年に「静岡市男女共同参画推進条例」を制定し、一人ひとりが個性と能力を発揮し、責任を分かち合う男女共同参画社会をつくるため、様々な施策を進めてきました。しかし、解消しなければならない課題は未だ多く、日々刻々と変化する社会情勢を捉えながら、2030年を見据えて取組を進めるため、「第4次静岡市男女共同参画行動計画」を策定しました。

## 第4次行動計画の目指す姿 【計画期間：2023～2030】

<8年後(2030年)の目指す姿>

**ジェンダー平等に基づき、  
すべての市民が安心して  
自分らしく暮らせる静岡**

「ジェンダー平等\*」の考え方が広く市民に理解されることで、一人ひとりが多様な考え方や生き方を選択しやすくなり、自分らしく暮らしやすい社会につながります。

市政運営の最も基本となる第4次静岡市総合計画においては、持続的な開発目標(SDGs)を総合的に推進するとともに、SDGsに包含される「ジェンダー平等の推進」を特に意識する横断的な視点として位置付けています。



\*ジェンダー平等とは  
性別に関わらず、平等に責任や権利や機会を分かちあい、あらゆる物事を一緒に決めていくこと。

## 施策の体系

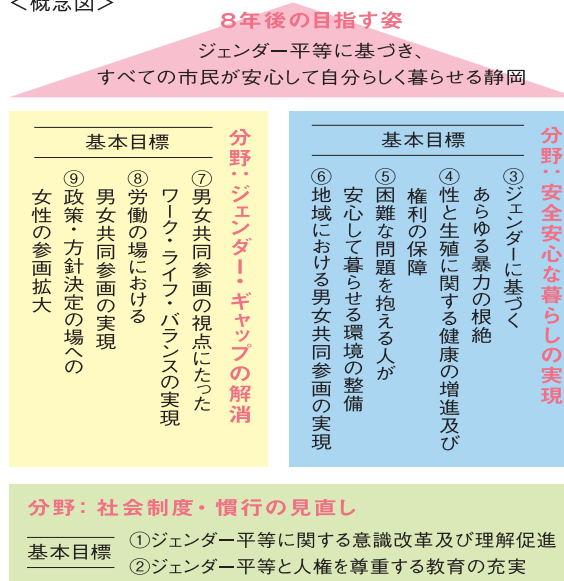
3つの分野、  
9つの基本目標に分類します

右の概念図のように、「社会制度・慣行」が見直され、「安心安全な暮らし」が実現し、「ジェンダー・ギャップ」が解消されることにより、「ジェンダー平等に基づき、すべての市民が安心して自分らしく暮らせる静岡」へつながっていくものと考えています。

計画の評価を基に基本目標のうち、  
以下の4つについて重点的に推進します

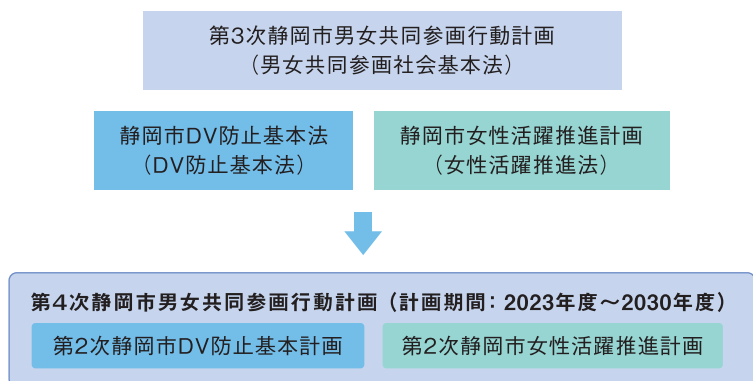
- ジェンダー平等と人権を尊重する教育の充実 (基本目標②)
- ジェンダーに基づくあらゆる暴力の根絶 (基本目標③)
- 地域における男女共同参画の実現 (基本目標⑥)
- 男女共同参画の視点にたったワーク・ライフ・バランスの実現 (基本目標⑦)

<概念図>

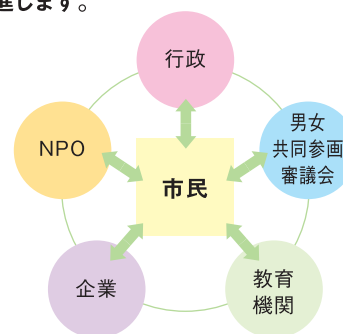


## 推進方法と体制

各法律に基づく3つの計画を一体として推進します



計画を実行性のあるものとするため、  
関係機関との連携に努め、ジェンダー平等と  
男女共同参画を推進します。



静岡市みんなの悩み相談（人間関係、性別、子ども、若者）

種類	相談内容	とき	ところ・問合せ
女性	女性のための総合相談	毎週火・水・金曜日 9:00～13:00、14:00～17:00 (R6年4/1～)木曜日9:00～11:00 14:00～17:00(※1) (R6年4/1～)土曜日9:00～13:00(※2) (年末年始を除く)	静岡市女性会館 ☎248-1234 希望や必要に応じて面接相談を実施 ※1(～R6年3/31まで木曜日14:00～20:00) ※2(～R6年3/31まで土曜日10:00～13:00)
	女性のための法律相談	毎月第1土・第3木曜日 14:00～17:00 (1回30分) (年末年始を除く)	静岡市女性会館 ☎248-1234 ※予約制
	女性相談	毎週月・火・木・金曜日 9:00～16:00 毎週水曜日14:00～20:00 第2土曜日13:00～18:00 (祝休日・年末年始、8/13～15を除く)	あざれあ女性相談(静岡県) ☎272-7879
男性	男性相談	毎月第2・4火曜日 (祝日除く) 19:00～21:00	メンズほっとライン静岡 ☎274-0105
	男性相談	毎月第1・3土曜日 13:00～17:00 (祝休日・年末年始を除く)	あざれあ男性相談(静岡県) ☎272-7880
DV	女性相談	配偶者や恋人などからの暴力に関する相談	静岡市配偶者暴力相談支援センター 葵区☎221-1274 駿河区☎201-9126 清水区☎354-2335
	女性相談	DV・その他暴力に関する相談(面接)	あざれあ女性相談(静岡県) ☎272-7879※予約制
性暴力	電話相談・チャット相談	性犯罪・性暴力に関する相談	24時間365日 静岡県性暴力被害者支援センターSORA(そら) ☎#8891
LGBTQ	にじいろ電話相談	セクシュアリティや性別の違和などに関する電話相談	毎月第2土曜日 (年末年始を除く) 14:00～17:00 静岡市女性会館 ☎248-2216
	LGBTQ電話相談	性のあり方に関する悩みや困りごと(家族・職場・学校関係者も相談可)	毎月第1火曜日・第3土曜日 18:00～22:00 ふじのくにLGBTQ電話相談(静岡県) ☎0120-279-585
子育て	子育て世代包括支援センター	「思いがけない・望まない」妊娠、出産に関する様々な悩み相談	毎週月～金曜日 9:00～16:00 (祝休日・年末年始を除く) 子育て世代包括支援センター 葵 ☎221-1195 駿河 ☎202-5817 清水 ☎354-2666
	家庭児童相談	18歳未満の子どもと子どもを取りまく家庭の相談	毎週月～金曜日 (祝休日・年末年始を除く) 8:30～17:15 静岡市子育て支援課 葵区 ☎221-1096 駿河区☎287-8675 清水区☎354-2429
	児童相談	子どもの養育環境や関わり方についての相談	毎週月～金曜日 8:30～17:15 (祝休日・年末年始を除く) 児童相談所相談専用ダイヤル ☎0120-189-783 静岡市児童相談所 ☎275-2871
静岡県子ども・家庭110番	18歳未満の子どもに関する相談全般	毎日9:00～(月～金曜日は20:00まで、土・日は17:00まで) 祝休日・年末年始を除く	静岡県子ども・家庭110番 ☎273-4152
子ども若者	面接相談	教育、生活、仕事や学校生活、いじめ、不登校、ヤングケアラーなどの相談(概ね39歳まで対象)	毎週月～金曜日 8:30～17:15 (祝休日・年末年始を除く) 静岡市子ども若者相談センター ☎221-1314 ※予約制
	電話相談	教育、生活、仕事や学校生活、いじめ、不登校、ヤングケアラーなどの相談(概ね39歳まで対象)	毎週月～金曜日 9:00～17:00 (祝休日・年末年始を除く) 静岡市こころのホットライン ☎0120-783-370 (令和6年3月29日まで)
	電話相談	いじめや友だち関係、勉強、進路、ヤングケアラーなどについて悩む本人、家族や関係者のための電話相談。	毎日24時間受付 静岡市24時間子ども若者電話相談 ☎054-254-6811 (令和6年4月1日から)
児童虐待	児童虐待	虐待を受けたと思われる児童の通告	毎日24時間受付 児童相談所虐待対応ダイヤル ☎189 (いちばやく)

編集後記



既婚者へのインタビューで結婚がどういうものか具体的に考えることができ、自分の将来を考えるきっかけにもなりました。自分と同じように若者が少しでも前向きになったら良いと思います。(細川)



"将来パートナーと共に歩んでいきたい"という思いを、安心して叶えられる社会の仕組みやサポートが必要であると改めて感じました。(酒井)



結婚観をテーマに、異世代のスタッフとライフプランについて考え、話し合い、このような冊子を作ることができて、とても貴重な経験になりました。(渡邊)



普段会うことのない方々と同じテーマについて熟考することができ、社会に対する視野を広げることのできる楽しく良い経験でした。(吉田)

パ・ザ・パ40号へのご意見・ご感想をお寄せください

静岡市市民局男女共同参画・人権政策課

〒420-8602 静岡市葵区追手町5-1

TEL:054-221-1349 FAX:054-221-1782 Eメール:sankaku@city.shizuoka.lg.jp

アンケートはこちらから!

